



2020年3月26日

各 位

会社名 株式会社テ゜・ウェスタン・セラピ゜テクス研究所  
代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
(コード番号:4576)  
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也  
TEL 052-218-8785

## 当社株式の業績基準に係る猶予期間からの解除に関するお知らせ

当社は、本日、第22期有価証券報告書を提出し、2019年12月期において営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローがプラスを計上したことから、業績基準に係る上場廃止の猶予期間から解除されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 対象となる法定開示書類

第22期有価証券報告書(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

#### 2. 業績基準を充足するに至った経緯

当社は、2018年12月期において、同期を含めて4期連続(\*)で営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスを計上したことから、有価証券上場規程第604条の4第1項第1号(関連規則は同第604条の2第1項第2号)に定める上場廃止基準に係る猶予期間入り銘柄となりました。

本件につき、株式会社東京証券取引所において、2019年12月期の営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローが負でないことが確認されましたので、本日、当社株式の業績基準に係る上場廃止の猶予期間入り銘柄からの解除が発表されました。

#### 3. 今後の見通し

当社グループは、「日本発の画期的な新薬を世界へ」という企業理念のもと、自社の強みである基礎研究に注力し、研究活動を推進しております。2019年度は主要開発品の一つである緑内障治療剤H-1129が開発中止となりましたが、その他開発品は順調に進捗し、開発後期品が充実してまいりました。2020年度以降は、H-1337のライセンスアウト活動に注力し、また、創薬事業においては他社とのコラボレーションを推進し、開発パイプラインの充実に努めてまいります。

今後も引き続き、収益力向上及び企業価値増大に向けて、「開発パイプラインの拡充」と「事業領域の拡大」に力を入れて、自社上市品の増加充実に努めてまいります。

以上

---

※ 実際には 2009 年 12 月期以降マイナスを計上しておりますが、新規上場の申請を行った日の属する事業年度の翌事業年度から 5 事業年度（2010 年 12 月期～2014 年 12 月期）は、「5 年連続」をカウントする対象には含まれません。